

くめおてと、
人形浄瑠璃(文楽)についてもっと知る!

定義

人形浄瑠璃は、日本の伝統的な人形
げきで、浄瑠璃と呼ばれる音楽に合
わせて人形が演じられます。

歴史

・起源：17世紀後半～18世紀にか
けて、江戸時代に発展しま
した。

・進化：浄瑠璃と人形おやっり結
びつき、文楽という形が確
立されました。

特ちょう

・人形：3人揃り手によって協作
された大きな人形で、精こ
うな作りと美しい装が
特ちょうです。

・語り：専門の語り手(浄瑠璃師)が
物語りを語り、演出をほ完
します。

・音楽：そう者(はや子方)が三味線

前回に引き
続きで、

を演そうし、物語のふん囲
気を盛り上げます。

文楽の代表的な演目

・「弁天小町」宿屋の場：有名なこ
い物語。

・「奈良十津川物語」：民話を基にし
た演目。

文化的意義

文楽は日本の伝統文化として、ユネ
スコの無形文化遺産に登録されて
います。文化や歴史、思想が反映さ
れています。

現代の文楽

現代でも新しい演目や技術を取り
入れ、国内外で公演やワークショップ
を行っています。

くふりかえり

人形浄瑠璃(文楽)は、日本の豊かな文
化遺産を感じられる芸術形式であ
り、世代をこえて愛され続けている。

定義や歴史という観点としても大切!

